

2023年度事業報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

公益財団法人 理想教育財団

2023年度実施事業の内容

事業区分一覧

事業区分		内容
A 調査・研究事業	A-1	学校情報伝達システムの調査・研究 通信づくり講習会等、教師または大学の教職課程の学生を対象とした講習会の実施 学校における通信活動の教育効果についての調査・研究 いじめのないよりよい学級づくりの調査・研究(2021.4 A-3から移動) 調査研究活動の発表会等の開催
	A-2	教師による自作教材の調査・研究 学習プリントをカラー化することによる教育効果・視覚的効果などの調査・研究
	A-3	児童・生徒による創作表現活動の調査・研究 はがき新聞の教育効果に関する調査・研究 調査研究活動の発表会等の開催
B 情報提供事業	B-1	教育関連出版物の刊行 通信づくりに役立つ冊子等の刊行
	B-2	研究情報誌の発行 「季刊理想」の発行
	B-3	ホームページの運用 事業の告知や活動報告、情報開示のほかプリントコミュニケーション活動に役立つ情報を提供する。
C 助成・顕彰事業	C-1	後援・支援の事業 臨書と自由書作品展の共催 文化芸術教育の充実に関する事業への助成、その他プリントコミュニケーション活動の発展に関わる事業への助成
	C-2	新聞教育の普及・振興 全国小・中学校・PTA新聞コンクールの後援 全国新聞教育研究大会の後援 地域の新聞教育に対する支援
	C-3	日本人学校等への支援・助成 海外日本人学校に対する児童図書寄贈 その他海外への教育支援
	C-4	コンクールの開催・顕彰 プリントコミュニケーションひろばの開催

【A】調査・研究事業

A-1 学校情報伝達システムの調査・研究

(1) 調査・研究活動等

A-1 (1)	①中部学級力向上研究会(共催)
日時	6月3日(土)13:00～17:00
場所・参加者	オルバースビルディング名古屋(ハイブリッド開催) 参加63名(うちオンライン参加20名)
内容	<ul style="list-style-type: none">・学級力向上プロジェクト実践報告 2件、他 (知立市立猿渡小学校 大山 和則先生、新潟市立東石山中学校校長 永井 一哉先生、新潟市立大形中学校 高尾 早彩先生、坂井 孝行先生)・横浜国立大学教職大学院 准教授 藤原 寿幸先生による学級力講演・愛知教育大学家政教育講座 教授 原田 悦子先生による指導・講評・早稲田大学教職大学院 教授 田中 博之先生による総括
A-1 (1)	②関西学級力向上研究会(共催)
日時	6月10日(土)13:00～17:00
参加者	梅田センタービル 参加30名
内容	<ul style="list-style-type: none">・学級力向上プロジェクト実践報告 3件、他 (尼崎市立小園小学校 宇都 亨先生、京都聖母学院小学校 清水 生恵先生、伊丹市立鴻池小学校 横山 和伸先生)・早稲田大学教職大学院 教授 田中博之先生による総括
A-1 (1)	③中部学級力向上研究会(共催)
日時	10月21日(土)13:00～17:00
場所・参加者	TKPガーデンシティPREMIUM 名古屋新幹線口(ハイブリッド開催) 参加34名(うちオンライン参加6名)
内容	<ul style="list-style-type: none">・学級力向上プロジェクト実践報告3件 (名古屋市立福田小学校教諭 成田 祥明先生、太田市立九合小学校教諭 星野 佑貴先生、刈谷市立雁が音中学校教諭 山本 昂平先生)・金沢学院大学講師 向田 識弘先生による指導・講評・特別講演 知立市立知立東小学校教諭 鈴木 健士先生・早稲田大学教職大学院 教授 田中 博之先生による総括
A-1 (1)	④関東学級力向上研究会(共催)
日時	10月28日(土)13:00～17:00
参加者	早稲田大学(早稲田キャンパス) 参加32名
内容	<ul style="list-style-type: none">・理論提案:横浜国立大学教職大学院 准教授 藤原寿幸先生・学級力向上プロジェクト実践報告 3件 (横浜市立浦島小学校 酒井 佳代先生、調布市上ノ原小学校 小松 陽子先生、本庄市立金屋小学校 川田 博樹校長先生、久保 宗一郎先生、吉田 遼平先生)・早稲田大学教職大学院 教授 田中博之先生による総括
A-1 (1)	⑤関西学級力向上研究会(共催)
日時	11月11日(土)13:00～17:00
場所・参加者	TKPガーデンシティPREMIUM大阪駅前(ハイブリッド開催) 参加38名(うちオンライン参加11名)
内容	<ul style="list-style-type: none">・学級力向上プロジェクト実践報告 3件、他 (富田林市立向陽台小学校 教諭 仲野 和義先生、名古屋市立神宮寺小学校 教諭 日比野 浩規先生、堺市立浜寺小学校 教頭 藤井 幸一先生)・特別講演:草津市立高穂中学校 校長 作田 まさ代先生・早稲田大学教職大学院 教授 田中 博之先生による総括

A-1 (1)	⑥中部学級力向上研究会(共催)
日時	2月3日(土)13:00~17:00
参加者	名古屋国際会議場(ハイブリッド開催) 参加47名(うちオンライン参加4名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> 学級力向上プロジェクト実践報告 3件 (日進市立日進西中学校教諭 酒井 佳香先生、河村 敏文先生、岩本 光司先生、 豊田市立元城小学校 教諭 水谷 清二先生、越知町立越知小学校教諭 井口 健太郎先生) 筑波大学人間系 准教授 京免 徹雄先生による指導・講評 特別講演:新潟市立小針小学校 校長 山田 哲哉先生 早稲田大学教職大学院 教授 田中 博之先生による総括
A-1 (1)	⑦関西学級力向上研究会(共催)
日時	2月10日(土)13:00~17:00
参加者	TKPガーデンシティPREMIUM大阪駅前(ハイブリッド開催) 参加50名(うちオンライン参加9名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> 学級力向上プロジェクト実践報告 3件、他 (木津川市立加茂小学校 教諭 門司 耕寛先生、富田林市立向陽台小学校 教諭 仲野 和義先生、 網走市立南小学校 教諭 篠原 諒伍先生、 高槻市立如是小学校 戸田 純子校長先生、野本 光太郎先生、大場 由紀先生) 大阪大谷大学教育学部 教授 今宮 信吾先生による指導・講評 特別講演:大阪体育大学教育学部 教授 蛭谷 みさ先生 早稲田大学教職大学院 教授 田中博之先生による総括
A-1 (1)	⑧関東学級力向上研究会(共催)
日時	2月17日(土)13:00~17:00
場所・参加者	横浜国立大学 参加25名
内容	<ul style="list-style-type: none"> 理論提案:横浜国立大学教職大学院 准教授 藤原寿幸先生 学級力向上プロジェクト実践報告 3件 (本庄市立旭小学校 梶山 まどか先生、山口 由布佳先生、 横浜市立錦台中学校 塚本 名都子先生、鶴田 航平先生、後藤 正志先生、 本庄市立金屋小学校 川田 博樹校長先生、久保 宗一郎先生) 早稲田大学教職大学院 教授 田中博之先生による総括

(2)調査研究活動の発表

A-1 (2)	①学級力向上プロジェクトオンラインフォーラム
日時	8月18日(金)13:00~16:10 ・録画オンデマンド配信:8月19日(土)00:00~23:59
場所・参加者	東京 神楽坂スタジオよりYouTubeでライブおよび録画オンデマンド配信 申し込み349名
内容	<ul style="list-style-type: none"> 関東,中部,関西の各学級力向上研究会合同の実践事例発表会 《イントロダクション》「子どもたちがつながり合い、成長し合う学級づくり」 早稲田大学教職大学院 教授 田中 博之 先生 1. 「学級力」ってなんだろう 愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 新潟市立小針小学校 寺山 晋一 先生 愛知県丹羽郡扶桑町立扶桑中学校 兼松 健太郎 先生 2. パネルディスカッション「学級力向上プロジェクトのさまざまな実践」 コーディネーター 横浜国立大学教職大学院 准教授 藤原 寿幸 先生 パネリスト 厚木市立緑ヶ丘小学校 芳賀 誠 先生 京都聖母学院小学校 清水 生恵 先生 鳥取市立千代南中学校 生田 聡史 先生、森原 洋一 先生 3. 総括 大阪大谷大学 教授 今宮 信吾 先生

(3) 研修会・資料作成等

A-1 (3)	①佐渡市教育委員会主催 学級力向上研修講座(講師派遣)
日 時	6月6日(火) 13:55～16:40
場所・参加者	あいぼーと佐渡 参加30名(小学校18名、中学校12名)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生。 ・「自治的な学級の育て方」 自治的で支持的風土にあふれた学級づくりを展開し、一層充実した教育活動を実現させる。
A-1 (3)	②京都府 木津川市立加茂小学校 学級力向上研修会(講師派遣)
日 時	7月28日(金) 15:00～17:00
場所・参加者	加茂小学校 参加10名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・講師は愛知教育大学准教授 磯部 征尊 先生、金沢学院大学 講師 向田 識弘 先生 ・「自分や他者と向き合い、自らを高めようとする心を育む道徳教育」 道徳教育の充実を起点とした非認知能力の育成、学級経営力の向上、ことばの力の育成
A-1 (3)	③三重県 亀山市立井田川小学校 学級経営に関する全体職員研修会(講師派遣)
日 時	8月8日(火) 10:30～11:50
場所・参加者	井田川小学校教室 参加42名(近隣校の先生も参加)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・「学級力向上プロジェクト」の実践指導
A-1 (3)	④三重県 亀山市教育委員会 夏季研修会(講師派遣)
日 時	8月8日(火) 15:00～16:45
場所・参加者	教育委員会会議室 参加22名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊先生 ・「学級力向上プロジェクト」を通じた子どもたちの自治力の育成について講演
A-1 (3)	⑤福井県 おおい町立佐分利小学校 学級力研修会(講師派遣)
日 時	9月11日(月) 15:15～16:45
場所・参加者	佐分利小学校教室 参加13名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・「学級力向上プロジェクト」の実践指導
A-1 (3)	⑥群馬県 桐生市立桜木小学校 学級力公開授業(講師派遣)
日 時	9月15日(金) 14:00～16:30
場所・参加者	桜木小学校 参加15名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・学級力に関する授業参観後に協議会を開催し指導助言
A-1 (3)	⑦石川県 輪島市立輪島中学校 学級力研修会(講師派遣)
日 時	9月21日(木) 10:40～14:30
場所・参加者	輪島中学校 参加19名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生、金沢学院大学 講師 向田 識弘 先生 ・学級力に関する授業参観(ニコマ)後に協議会を開催し指導助言

A-1 (3)	⑧新潟県 新潟市立東石山中学校 学級力研修会(講師派遣)
日 時	11月1日(木) 15:00～16:30
場所・参加者	東石山中学校 参加29名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・平成28年度から続く学級力向上プロジェクトの継続実践と、より効果的な取組についての指導助言
A-1 (3)	⑨新潟県 佐渡市立八幡小学校 学級力研修会(講師派遣)
日 時	11月2日(金) 13:55～16:40
場所・参加者	八幡小学校 参加24名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・支持的、自治的風土を育てる学級、学校づくりに取り組んでいる実践の参観と指導助言
A-1 (3)	⑩石川県 輪島市立輪島中学校 研究発表会(講師派遣)
日 時	11月17日(金) 13:30～16:00
場所・参加者	輪島中学校 参加77名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生、金沢学院大学 講師 向田 識弘 先生 ・公開授業の視察と研究協議会実施。近隣の小中学校の先生、県、市の教育委員指導主事が参加
A-1 (3)	⑪東洋大学文学部 教職実習演習 第2回目「通信講座」(講師派遣)
日 時	11月27日(月) 13:00～14:30
場所・参加者	東洋大学 教室 参加38名
内 容	・講師は新聞教育支援センター代表 吉成 勝好 先生 ・学級通信づくりの意義～具体的な制作までの指導を実施
A-1 (3)	⑫大阪府 高槻市立如是小学校 学級力研修会(講師派遣)
日 時	11月27日(月) 14:30～17:00
場所・参加者	如是小学校 参加25名
内 容	・講師は大阪体育大学 教授 蛭谷 みさ 先生 ・学級力に関する授業参観後に協議会を開催し指導助言
A-1 (3)	⑬京都府 木津川市立加茂小学校 学級力研修会(講師派遣)
日 時	12月4日(月) 13:30～16:30 ・1月17日(水) 13:30～16:30
場所・参加者	加茂小学校 参加16名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生、金沢学院大学 講師 向田 識弘 先生 ・12/4、1/17とも 授業視察及び研究協議会実施
A-1 (3)	⑭新潟県 新潟市立濁川中学校 学級力研修会(講師派遣)
日 時	3月12日(火) 14:00～16:00
場所・参加者	濁川中学校 参加27名(内、13名が濁川小学校教員)
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・令和2年度から取り組んできた学級力向上プロジェクトの振り返りと指導助言
A-1 (3)	⑮新潟県 新潟市立曾野木中学校 学級力研修会(講師派遣)
日 時	3月13日(水) 14:00～16:30
場所・参加者	曾野木中学校 参加21名
内 容	・講師は愛知教育大学 准教授 磯部 征尊 先生 ・課題となっている不登校の未然防止を中心に次年度に向けた指導助言

A-2 教師による自作教材の調査・研究

A-2	①「学習プリントをカラー化することによる教育効果や視覚効果などについての調査・研究」
内容	・助成品として「2色プリントの活用事例」を配布 ・授業実践事例の作品集を作成

A-3 児童・生徒による創作表現活動の調査・研究

「はがき新聞の教育効果に関する調査・研究」

調査・研究対象について

*学習指導要領の「言語活動の充実」を図るため、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を高める教育手法として「はがき新聞づくり」を推奨。「はがき新聞づくり」は単なる行事、体験の報告に留まらず、多くの教科での活用が可能である。

また、情報活用能力、プログラミング的思考などの基盤的な学力となる言語能力を培う方法にも適しており、学校教育の様々な局面においての「はがき新聞」活用方法の開発と効果の検証を目的に実施している。

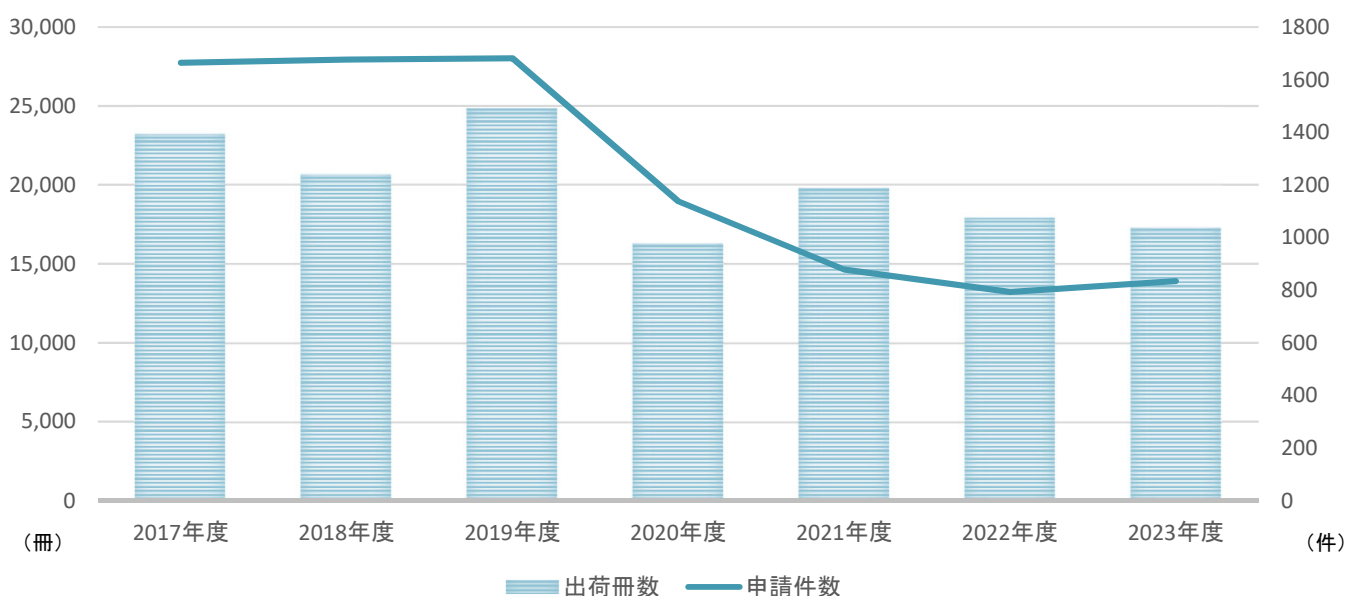
(1) 主な活動状況

A-3 (1)	①実践援助としての助成状況 2024年3月末現在		
	※1特別助成校	※1一般助成校	合計
小学校	88	1,839	1,927
中学校	32	1,110	1,142
小・中学校計	120	2,949	3,069
高校・特別支援等※	5	86	91
助成校 総計	125	3,035	3,160
2023. 3末	552	2,449	3,001
増減	※2		159

※1 特別助成校 (プリンター付きで助成をしている学校)
一般助成校 (はがき新聞原稿のみ助成をしている学校)

※2 3年間以上インク助成申請の無い学校は未稼働と判断し数字から除外。比較ができないため増減数を割愛した。

A-3 (1)	②はがき新聞 助成品(原稿用紙)出荷数推移 2024年3月末現在						
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
出荷冊数	23,201	20,632	24,835	16,283	19,756	17,902	17,281
申請件数	1664	1,676	1,681	1137	878	793	835
出荷冊数/件	14	12	15	14	23	23	21



(2)はがき新聞の教育効果についての研究委託

A-3 (2)	①研究テーマ 「はがき新聞の活用による文章力向上への効果、学力への影響に関する調査、研究」
内 容	はがき新聞の活用と文章力の向上の相関および学力への影響について調査研究する。併行して、はがき新聞を活用したコンパクト教材の拡充、研究会の推進に努めてもらう。
実施期間	2023年4月1日～2024年3月31日
研究委託者	早稲田大学文学学術院 教授 森山 卓郎 先生 1982年京都教育大学卒、1985年大阪大学大学院文学研究科博士課程修了、1988年同大学講師、1990年京都教育大学助教授、2004年同教授、2008年より附属幼稚園長を兼任、2012年より早稲田大学文学学術院教授、京都教育大学名誉教授
A-3 (2)	②研究テーマ 「はがき新聞原稿用紙の新たなスタイルの検討及び予備的実践の収集と効果の測定」
内 容	学校現場の実践的調査から得た「はがき新聞原稿用紙」に書く機会を増やすことで児童生徒の資質・能力の伸長に効果的であることの実証
実施期間	2023年4月1日～2024年3月31日
研究委託者	佐賀大学 教育学部 国語科教育 教授 達富 洋二 先生 離島の小規模公立小学校、都市部の公立小学校、国立大学附属小学校および小中学校など、約20年間の小中学校での実践を経て、現在は佐賀大学に勤務、長崎大学非常勤講師 九州教室の声に学ぶ会をはじめ、長崎、佐賀、熊本、鹿児島など、九州各地で研究会を主宰
A-3 (2)	③研究テーマ 「学級力を高めるはがき新聞のDX方法の開発研究 ー子どもたちがアナログとデジタルを融合する新しい学びへの挑戦ー」
内 容	はがき新聞を用いた学習履歴の作成と学習評価の在り方、オンラインギャラリーを通じた学習成果の共有、オンライン版はがき新聞の活用方法の研究開発
実施期間	2023年4月1日～2024年3月31日
研究委託者	早稲田大学教職大学院 教授 田中 博之 先生 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程在学中に助手となり、大阪教育大学助教授・教授を経て、2009年4月より現職、文部科学省「全国的な学力調査に関する専門家会議」委員(2007年ー2018年) 専門は授業デザイン・学習指導論
A-3 (2)	④研究テーマ 「学力と自己成長力の育成における言語能力育成研究」
内 容	学力(情報活用能力、プログラミング的思考力) 育成と言語能力との因果関係、及び学級経営における子どもたちの言語能力との因果関係の解明。また、はがき新聞の活用を通し子どもたちの言語能力を鍛えることで、より高い学力と自己成長力を身に付けられることを検証する。
実施期間	2023年4月1日～2024年3月31日
研究委託者	国立大学法人愛知教育大学 同大学 創造科学系 技術教育講座 准教授 磯部征尊先生が主幹で研究を実施 公立小学校、国立大学附属小学校など、10年間の第一線での実践を経て現職 学級経営、問題解決的な学習づくり、プログラミン教育が専門

(3) 調査研究活動の発表

A-3 (3)	①はがき新聞研究会
日時	11月4日(土) 13:00～17:00
場所・参加者	財団会議室 ハイブリッド開催 参加32名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ:GIGAスクール時代にこそ 子どもたちの教育に必要なこと –「はがき新聞」の活用方法と有効性について考える– をテーマに研究会会員を対象に開催し、意見交換を行った。 ・講演1:「多すぎる情報」と「新聞」の間で – はがき新聞の果たす役割について 講演者:日本新聞博物館 館長 尾高 泉氏 ・講演2:「はがき新聞」の活用方法と有効性について考える 講演者:佐賀大学 教育学部 教授 達富 洋二先生 ・実践報告1 :はがき新聞を活用して『深い学び』を 促す小学校国語科の指導法 大阪体育大学教育学部 教授 蛭谷 みさ先生 ・実践報告2:私のはがき新聞の使い方の事例 日進市立日進西中学校 教諭 河村 敏文先生 ・鼎談:GIGAスクール時代にこそ 子どもたちの教育に必要なこと 森山 卓郎先生、達富 洋二先生、尾高 泉氏

A-3 (3)	②教育フォーラム
日時	2月25日(日) 13:00～16:45 ・録画オンデマンド配信:3月2日(土)00:00～3月3日(日)23:59
場所・参加者	東京 時事通信ホール ハイブリッド開催(ライブおよび録画オンデマンド配信) 申し込み157名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ:“子どもたち一人一人の「生きる力」の育成のために” ・特別講演:子どもたちがこれからの時代を生き抜くために育む力 –ICT活用を視野に入れて– 講演者:放送大学 教授 中川 一史 先生 ・基調講演:子どもたちが言語能力を高めるはがき新聞の活用 –一人一台端末を用いる新しい授業アイデア– 講演者:早稲田大学教職大学院 教授 田中 博之 先生 ・シンポジウム:言語能力を高め「生きる力」を育む –ICTと「はがき新聞」を活用して言語活動を充実する– コーディネーター:放送大学 客員教授 佐藤 幸江 先生 シンポジスト:大阪体育大学 教授 蛭谷 みさ 先生 大阪府熊取町立中央小学校 教諭 岸 香里 先生 日進市立日進西中学校 教諭 河村 敏文 先生

(4) 研修会・資料作成等

A-3 (4)	①九州 教室の声に学ぶ会 鹿児島集い 教員向け研修会(後援)
日時	4月22日(土) 14:00～17:00
場所・参加者	ダイワロイネットホテル 鹿児島天文館 参加32名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・主宰は、佐賀大学 教授 達富 洋二 先生 ・「1枚に書く」ことの実際と題し、1枚に書く事の意義および評価方法について、実際に児童が書いた文(はがき新聞原稿用紙)を例に研修を進行

A-3 (4)	②九州 教室の声に学ぶ会 福岡の集い 教員向け研修会(後援)
日時	5月20日(土) 13:00～16:30
場所・参加者	アクア博多 参加26名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・主宰は、佐賀大学 教授 達富 洋二 先生 ・達富先生編著の「ここからはじまる国語教室」の執筆者が集い、各執筆コーナーについての解説及び質疑応答を中心に研修を進行
A-3 (4)	③はがき新聞作成ワークショップ(後援)
日時	8月1日(土) 13:30～16:30
場所・参加者	早稲田大学 早稲田キャンパス 参加6名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講師は早稲田大学教職大学院 教授 田中 博之 先生、大阪体育大学 教授 蛭谷 みさ 先生、愛知県尾張旭市立旭中学校 彦田 泰輔 先生 ・教職大学院生を対象にワークショップを中心とした内容で開催
A-3 (4)	④京都市小学校教育研究会「令和5年度 青年教員並びに幹事研修会」(講師派遣)
日時	10月6日(金) 18:00～19:30
場所・参加者	京都市総合教育センター松永記念ホール 参加者約170名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講師は早稲田大学文学学術院 教授 森山 卓郎 先生 ・内容は「教育DXと子どもたちの言語能力」と題し、はがき新聞の活用を交え講演
A-3 (4)	⑤東洋大学文学部 教職実習演習 第1回目「はがき新聞講座」(講師派遣)
日時	11月20日(月) 13:00～14:30
場所・参加者	東洋大学 教室 参加41名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講師は新聞教育支援センター代表 吉成 勝好 先生 ・講座内容は4月に教職についてした場合を想定した”自己紹介新聞“の作成までの指導を実施

【B】情報提供事業

B-1 教育関連出版物の刊行

B-1	①刊行物の発行・増刷
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・通信づくりの支援冊子として「著作権ガイド」第2版を発行 ・既存刊行物の増刷

B-2 研究情報誌の発行

B-2	①機関誌『季刊理想』の発行
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・6月(夏号)9月(秋号)12月(冬号)3月(春号)を発行。読者拡大のため多彩な記事を掲載するよう新規助成品の紹介や、またエッセイの寄稿者選考への配慮など紙面の充実を図った。

B-3 ホームページの運用

B-3	①現場支援のための情報とツールの提供及び財団情報の発信
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「はがき新聞学習支援プロジェクト」のページの開設(2023年5月より公開) ・各種助成品の紹介や、申し込み窓口としての機能充実及び各種情報の更新

【C】助成・顕彰事業

C-1 後援・支援事業

C-1	①令和5年度横浜市立学校総合文化祭(協賛)
日時	7月25日から2月29日まで各分野ごとに開催
内容	・協賛金拠出(開催ポスター制作代等の補助)
C-1	②小中学生記者の文化財取材コンクール(後援)
日時	7月22日(土)13:30~16:30
場所・参加者	京都市 光照院門跡 参加53名(小学生40名、中学生13名)
内容	・主催は公益財団法人京都古文化保存協会 ・子供たちが重要文化財の修理をしている職人の技術を体験し、その技術がどのように活かされているのかを取材し、小学生ははがき新聞を作成し応募、中学生は記事の部・写真の部いずれかに応募 ・賞は京都市長賞、京都府教育長賞、京都新聞賞、理想教育財団賞他
C-1	③第7回 全国はがき筆文字展(協賛)
日時	11月11日~11月12日まで開催、別日に巡回展を2月14日~18日に東京展(東京芸術劇場)を開催
内容	・協賛金拠出(開催費用等の補助)

C-2 新聞教育の普及・振興

C-2	①千葉県新聞教育研究会夏季研修会(講師派遣)
日時	①8月2日(水)13:30~16:30
場所	千葉縣市川市教育会館 参加25名
内容	・講師は金沢学院大学 講師 向田 識弘 先生 ・「学級づくりと思いを伝え合う はがき新聞の活用」
C-2	②第56回学校新聞まめ記者講習会(印刷支援)
日時	8月1日(火)~3日(木)
場所・参加者	インターナショナルリゾートホテル湯落城 参加111名(小学生)
内容	・清泉、カリタス、青山学院横浜英和、相模女子大、関東学院六浦、立教の各附属小学校が参加 ・8月1日(火):成田山新勝寺で取材後、新聞を作成 ・8月2日(水):成田空港で取材、Peach航空 副操縦士、CA、整備員に囲み取材し、新聞を作成
C-2	③令和5年度 岩手県小・中学校新聞コンクール(表彰盾製作費の助成)
日時	令和5年4月~11月6日までに発行した新聞を対象に応募受付
場所・参加者	岩手県新聞研究協議会 応募389作品
内容	・新聞教育の普及・発展を目的としたコンクール ・受賞者は70名(最優秀賞17名、優秀賞53名) ・はがき新聞は、小学校の部、中学校の部で4名が受賞(最優秀賞2名、優秀賞2名)

C-3 日本人学校等への支援・助成

C-3	①海外日本人学校等への支援・助成
内 容	日本人学校、補習授業校等から毎年度10校を選び、児童図書を寄贈。
	児童・生徒数や過去の寄贈歴を勘案し、2023年度は次の10校を決定した。ニューデリー日本人学校(インド)、ホーチミン日本人学校(ベトナム)、グアム日本人学校(米国)、ハンブルグ日本人学校(ドイツ)、サンアントニオ日本語補習校(米国)、シャーロット日本語補習学校(米国)、フィレンツェ日本語補習授業校(イタリア)、トゥールーズ日本語補習授業校(フランス)、ヘルシンキ日本語補習学校(フィンランド)、テルフォード日本人補習授業校(イギリス)

C-4 コンクールの開催・顕彰

C-4	①第18回・第19回「プリントコミュニケーションひろば」
内 容	<p>第18回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募作品109点(通信の部68点、学校だよりの部13点、その他の部25点、電子媒体の部3点)の審査会を開催(5月28日)した。受賞作品は37点。(ひろば賞34点、新人賞3点) ・作品集、個別講評は応募者に向け発送済。作品集は助成物品に登録し、申請受付を開始
	<p>第19回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品募集を前倒し12月15日から募集開始し3月31日に締切 ・応募作品数は、90作品 ・作品選定会は、次年度 5月25日(土)に開催予定

その他の事項

①理事会・評議員会

- 第55回理事会 5月24日(ハイブリッドによる開催)
- 第56回理事会 6月12日(書面決議)
- 第57回理事会 6月12日(書面決議)
- 第13回定時評議員会 6月14日(ハイブリッドによる開催)
- 第14回臨時評議員会 6月14日(ハイブリッドによる開催)
- 第58回理事会 11月20日(ハイブリッドによる開催)
- 第59回理事会 3月28日(ハイブリッドによる開催)

②評議員人事

- 退任:6月14日 鈴木伸男氏、山村弘氏の2名が評議員を退任
- 新任:6月14日 湯浅茂雄氏が評議員に就任

③新規事業の検討

- ・学びの多様化学校を対象とした給付型奨学金の事業企画を継続検討中。
- ・障害のある児童・生徒対象とした新規事業の企画について、事業の実現性を調査し検討を重ねてきたが、既に類似する事業が複数存在することから当初企画は見送ることとした。

④「プリントコミュニケーションひろば」の運営方針の転換

- ・第14回以降、応募数減少の一途を辿り、ピーク時700近くあった作品応募が、今回の第19回では80作品程度にまで減少。応募数の減少は学校を取り巻く環境変化が支配的であり、応募作品数の増加は見込めないものと判断し、顕彰事業としての「プリントコミュニケーションひろば」の開催は第19回をもって終了とする。